

令和7（2025）年度入学生用（卒業要件一覧及び詳細）

学 部	教養教育科目	専門教育科目	教養教育科目 または 専門教育科目	合 計
工 学 部	32単位以上 (必修含む)	88単位以上 (必修含む)	4単位以上	124単位以上
経営経済学部	36単位以上 (必修含む)	88単位以上 (必修含む)	—	124単位以上
保健医療学部	22単位以上 (必修含む)	102単位以上 (必修含む)	—	124単位以上

日本文理大学工学部履修細則

平成16年4月1日

制定

(総 則)

- 第1条 この細則は、工学部における開講科目及び履修方法等について定める。
- 2 工学部の専門教育科目は、「必修科目」、「コース必修科目」、「選択必修科目」、「コース選択必修科目」、及び「選択科目」に区分する。
- 3 工学部における授業科目の区分及び開講科目は、別表に定めるとおりとする。
- 4 一年間に履修登録できる単位数を48単位（前期24単位、後期24単位）までとする。但し、休業中に実施される集中講義、認定制科目及び卒業要件単位に算入しない科目は、履修制限対象科目から除く。また、履修計画上、担任教員が履修制限超過の必要を認めた場合は、履修制限超過申請書を提出し、所属学科教室主任の承認を得られた場合のみ、履修登録の上限を超えて履修登録できるものとする。
- 5 一年間に履修登録できる単位数については、学生の成績状況に合わせて緩和あるいは厳格化させることがある。
- 6 各学科の履修条件及び履修制限については、別に定める。

(卒業要件)

- 第2条 卒業には4年以上在学し、教養教育科目32単位（必修科目19単位を含めて。）以上、および専門教育科目88単位（第3項に示す科目を含めて。）以上、かつ合計124単位以上を修得しなければならない。
- 2 教養教育科目の必修科目は、人間力概論（2単位）、社会参画入門（2単位）、社会参画実習（1単位）、英語1（2単位）、情報リテラシー1（2単位）、文章表現（2単位）、大分学・大分県（2単位）、産学一致の勤め（2単位）、社会参画応用（2単位）、社会参画実習2（1単位）及びデータサイエンス入門（1単位）とする。ただし、留学生カリキュラム対象者は、文章表現（2単位）に替え、日本語4（2単位）とする。
- 3 各学科の専門教育科目における卒業要件は、以下に示す通りとする。
- (1) 機械電気工学科
- イ 以下に示す「必修科目」38単位を全て修得しなければならない。
- 基礎機械電気工学（2単位）、微分積分1（2単位）、線形代数1（2単位）、設計基礎（2単位）、機械要素設計1（2単位）、材料力学1（2単位）、エネルギー工学（2単位）、Cプログラミング基礎（2単位）、数理解析（2単位）、メカトロニクス（2単位）

位)、機械電気計測 (2単位)、電気回路1 (4単位)、電子物性基礎 (2単位)、電子回路1 (2単位)、研究ゼミナール (2単位)、卒業研究 (6単位)

ロ 以下に示すコース別の「コース選択必修科目」の中から定められた単位数を修得しなければならない。
未来創造工学コース (6単位以上)

機械加工実習 (2単位)、機械工学実験1 (2単位)、機械工学実験2 (2単位)、自動車実験・実習1 (2単位)、自動車実験・実習2 (2単位)、電気電子基礎実験 (2単位)、電気電子工学実験1 (2単位)、電気電子工学実験2 (2単位)

先端ものづくり設計コース (6単位以上)

機械加工実習 (2単位)、機械工学実験1 (2単位)、機械工学実験2 (2単位)、自動車実験・実習1 (2単位)、自動車実験・実習2 (2単位)

電気・制御システム融合コース (6単位以上)

機械加工実習 (2単位)、自動車実験・実習1 (2単位)、電気電子基礎実験 (2単位)、電気電子工学実験1 (2単位)、電気電子工学実験2 (2単位)

(2) 建築学科

イ 以下に示す「必修科目」38単位を全て修得しなければならない。

基礎製図 (2単位)、CAD製図 (2単位)、設計製図1 (2単位)、建築計画1 (2単位)、建築計画2 (2単位)、住居論 (2単位)、建築環境工学 (2単位)、建築設備 (2単位)、構造力学1 (2単位)、材料力学 (2単位)、材料工学 (2単位)、建築一般構造 (2単位)、施工1 (2単位)、建築法規1 (2単位)、技術者倫理 (2単位)、地域再生論 (2単位)、卒業研究 (6単位)

ロ 以下に示すコース別の「コース必修科目」の中から定められた単位数を修得しなければならない。

建築設計コース (2単位)

設計製図2 (2単位)

建築工学コース (2単位)

設計製図2 (2単位)

住居・インテリアデザインコース (2単位)

設計製図2 (2単位)

環境・地域創生コース

・まちづくり分野 (28単位)

データ解析演習 (2単位)、地理情報処理演習 (2単位)、自然生態学 (2単位)、環境水理学 (2単位)、測量学及び実習 (4単位)、都市計画 (2単位)、ランドスケープ (2単位)、地盤工学 (2単位)、線形代数1 (2単位)、微分積分1 (2単位)、プロジェクト1 (2単位)、プロジェクト2 (2単位)、プロジェクト3 (2単位)

環境・地域創生コース

・社会基盤分野 (28単位)

地理情報処理演習 (2単位)、自然生態学 (2単位)、環境水理学 (2単位)、測量学及び実習 (4単位)、都市計画 (2単位)、ランドスケープ (2単位)、構造力学2 (2単位)、地盤工学 (2単位)、建設マネジメント演習及び実習 (2単位)、線形代数1 (2単位)、線形代数2 (2単位)、微分積分1 (2単位)、微分積分2 (2単位)

ハ 以下に示すコース別の「コース選択必修科目」の中から定められた単位数を修得しなければならない。

建築設計コース (16単位以上)

CAD1 (2単位)、CAD3 (2単位)、設計製図3 (2単位)、設計製図4 (2単位)、設計製図5 (2単位)、日本建築史 (2単位)、世界建築史 (2単位)、建築材料実験 (2単位)、建築法規2 (2単位)、プロジェクト1 (2単位)、モダンデザイン (2単位)

建築工学コース (16単位以上)

CAD1 (2単位)、構造力学2 (2単位)、構造力学3 (2単位)、地盤工学 (2単位)、構造設計1 (2単位)、構造設計2 (2単位)、構造設計3 (2単位)、建築材料実験 (2単位)、施工2 (2単位)、建設マネジメント演習及び実習 (2単位)、プロジェクト1 (2単位)

住居・インテリアデザインコース (16単位以上)

CAD1 (2単位)、CAD2 (2単位)、CAD3 (2単位)、設計製図3 (2単位)、設計製図4 (2単位)、スペースデザイン (2単位)、モダンデザイン (2単位)、リフォーム (2単位)、インテリア環境工学 (2単位)、プロジェクト1 (2単位)、建築法規2 (2単位)

ニ 建築設計コース及び建築工学コースは、一級建築士受験資格（免許登録要件実務経験年数2年）、住居・インテリアデザインコース及び環境・地域創生コースは、二級建築士受験資格（資格付与実務経験年数0年）の要件を満たさなければならない。

(3) 航空宇宙工学科

イ 以下に示す「必修科目」42単位を全て修得しなければならない。

微分積分1 (2単位)、線形代数1 (2単位)、力学要論 (2単位)、航空工学概論 (2単位)、宇宙工学概論 (2単位)、材料力学基礎 (2単位)、構造力学 (2単位)、航空宇宙材料 (2単位)、熱力学 (2単位)、ピストンエンジン (2単位)、タービンエンジン (2単位)、流体力学 (2単位)、工学実験基礎 (2単位)、航空工学実験1 (2単位)、CAD基礎（作図） (2単位)、CAD基礎（設計） (2

- 単位)、レベルアップA (2単位)、レベルアップB (2単位)、卒業研究 (6単位)
- ロ 以下に示すコース別の「コース必修科目」を全て修得しなければならない。
- 航空技術・総合工学コース (4単位)
- 飛行力学 (2単位)、航空機設計 (2単位)
- エアライン整備・オペレーションコース (4単位)
- 整備概論 (2単位)、整備基礎 (2単位)
- スペーステクノロジーコース (4単位)
- 航空宇宙情報処理 (2単位)、ロケット工学 (2単位)
- (4) 情報メディア学科
- イ 以下に示す「必修科目」30単位を全て修得しなければならない。
- 情報メディア入門 (2単位)、コンピュータ基礎 (2単位)、IT基礎 (2単位)、eビジネス基礎 (2単位)、プログラミング基礎 (2単位)、インターネット基礎 (2単位)、インターネット応用 (2単位)、データベース基礎 (2単位)、データベース応用 (2単位)、研究ゼミナールA (2単位)、研究ゼミナールB (2単位)、情報メディア総合演習 (2単位)、卒業研究 (6単位)
- ロ 以下に示すコース別の「コース必修科目」を全て修得しなければならない。
- 情報工学コース (26単位)
- C言語プログラミング (2単位)、Javaプログラミング (2単位)、アルゴリズム (2単位)、信号処理及び演習 (3単位)、画像処理及び演習 (3単位)、データ解析及び演習 (3単位)、自然言語処理及び演習 (3単位)、ソフトウェア開発入門 (2単位)、Webシステム構築 (2単位)、情報システム回路入門 (2単位)、組込み演習 (2単位)
- メディアデザインコース (21単位)
- デッサン (1単位)、コンテンツ企画論 (2単位)、コンピュータグラフィックス基礎 (2単位)、コンピュータグラフィックス応用 (2単位)、コンピュータミュージック基礎 (2単位)、コンピュータミュージック応用 (2単位)、コンピュータミュージック演習 (2単位)、映像企画・取材学 (2単位)、映像機器学及び演習 (3単位)、映像構成・演出学及び演習1 (3単位)
- こども・情報教育コース (4単位)
- 初等教育のためのICT活用1 (2単位)、初等教育のためのICT活用2 (2単位)
- 情報コミュニケーションコース (13単位)
- データ解析及び演習 (3単位)、情報メディアと社会 (2単位)、情報メディアと法・倫理 (2単位)、eビジネス経営論 (2単位)、ICT基礎演習 (1

- 単位)、ICT応用 (2単位)、ICT実践演習 (1単位)
- ハ 以下に示すコース別の「コース選択必修科目」の中から定められた単位数を修得しなければならない。
- 情報コミュニケーションコース (20単位)
- (以下の科目から10単位)
- Webデザイン (2単位)、Webアニメーション (2単位)、コンピュータグラフィックス基礎 (2単位)、広告デザイン (2単位)、造形 (2単位)、デッサン (1単位)、コンテンツ企画論 (2単位)、コンピュータグラフィックス応用 (2単位)、3DCAD基礎 (2単位)、3DCAD応用 (2単位)、Webプランニング論 (2単位)、デジタルコンテンツ論 (2単位)、プロジェクトマネジメント論 (2単位)、コンピュータミュージック基礎 (2単位)、コンピュータミュージック応用 (2単位)、コンピュータミュージック演習 (2単位)、映像企画・取材学 (2単位)、映像機器学及び演習 (3単位)、映像構成・演出学及び演習1 (3単位)、映像構成・演出学及び演習2 (3単位)
- (経営経済学科で開講されている下記の科目分野の中から10単位)
- 1.専門基礎、2.経営学、3.マーケティング・流通、4.経済学、5.法律学、6.会計ファイナンス、7.スポーツビジネス、8.スポーツトレーナー、9.社会福祉、10.心理学、14.地域マネジメント

日本文理大学経営経済学部履修細則

平成16年4月1日

制定

(総 則)

- 第1条 この細則は、経営経済学部における開講科目及び履修方法等について定める。
- 2 経営経済学部の専門教育科目は、「必修科目」、「選択必修科目」、「コース必修科目」及び「選択科目」に区分する。

- 3 経営経済学部における授業科目の区分及び開講科目は、別表に定めるとおりとする。
- 4 一年間に履修登録できる単位数を48単位（前期24単位、後期24単位）までとする。ただし、休業中に実施される集中講義、認定制科目及び卒業要件単位に算入しない科目は、履修制限対象科目から除く。
- 5 一年間に履修登録できる単位数については、学生の成績状況に合わせて緩和あるいは厳格化させることがある。

（卒業要件）

第2条 卒業には4年以上在学し、教養教育科目から36単位（必修科目19単位を含めて。）以上、専門教育科目から88単位（第3項に定める科目・単位を含めて。）以上の合計124単位以上を修得しなければならない。

- 2 教養教育科目の必修科目は、人間力概論（2単位）、社会参画入門（2単位）、社会参画実習（1単位）、英語1（2単位）、情報リテラシー1（2単位）、文章表現（2単位）、大分学・大分楽（2単位）、産学一致の勤め（2単位）、社会参画応用（2単位）、社会参画実習2（1単位）及びデータサイエンス入門（1単位）とする。ただし、留学生カリキュラム対象者は、文章表現（2単位）に替え、日本語4（2単位）とする。
- 3 専門教育科目における卒業要件は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 「必修科目」

以下に掲げる科目20単位を全て修得しなければならない。

ゼミナールⅡA（2単位）、ゼミナールⅡB（2単位）、ゼミナールⅢ（4単位）、ゼミナールⅣ（4単位）、簿記入門（2単位）、経営学入門（2単位）、経済学入門（2単位）及び社会福祉入門（2単位）

(2) 「選択必修科目」

以下に掲げる科目群からそれぞれ8単位以上修得しなければならない。

イ 「経済学」 マクロ経済学（4単位）、ミクロ経済学（4単位）、国際経済学（2単位）、経済政策論（2単位）、日本経済論（2単位）

ロ 「経営学」 会計学入門（2単位）、マーケティング論（2単位）、日本のサービス産業（2単位）、経営管理論（2単位）、地域経営論（2単位）、経営組織論A（2単位）、企業戦略基礎（2単位）

(3) 「コース必修科目」

コース別に、以下に掲げる科目を全て修得しなければならない。

イ 地域マネジメントコース（8単位）

社会調査法（2単位）、まちづくりマーケティング（2単位）、地域ブランド論（2単位）、地域イ

ノベーション論（2単位）

ロ ビジネスソリューションコース（8単位）

流通経営論（2単位）、人的資源管理論（2単位）、ビジネスデータ分析（2単位）、マーケティング戦略演習（2単位）

ハ 会計ファイナンスコース（8単位）

管理会計論A（2単位）、管理会計論B（2単位）、財務諸表論（4単位）

ニ スポーツビジネスコース（8単位）

スポーツビジネス・マネジメント概論（2単位）、スポーツ経営学（2単位）、スポーツマーケティング（2単位）、スポーツリテラシー4（スポーツ産業論）（2単位）

ホ こども・福祉マネジメントコース（8単位）

社会福祉調査法（2単位）、地域福祉論（2単位）、児童福祉論（2単位）、福祉経営論（2単位）

日本文理大学保健医療学部履修細則

令和5年4月1日

制定

（総 則）

第1条 この細則は、保健医療学部における開講科目、履修方法、卒業要件及び進級方法等について定める。

2 保健医療学部の専門教育科目は、「必修科目」、「コース必修科目」及び「選択科目」に区分する。

3 保健医療学部における授業科目の区分及び開講科目は、別表に定めるとおりとする。

4 一年間に履修登録できる単位数を48単位（前期24単位、後期24単位）までとする。ただし、休業中に実施される集中講義、認定制科目及び卒業要件単位に算入しない科目は、履修制限対象科目から除く。

5 一年間に履修登録できる単位数については、学生の成績状況に合わせて緩和あるいは厳格化させることがある。

（卒業要件）

第2条 卒業には4年以上在学し、教養教育科目から22単

位（必修科目14単位を含む。）以上、専門教育科目から102単位（第3項に定める科目・単位を含む。）以上の合計124単位以上を修得しなければならない。

- 2 教養教育科目の必修科目は、社会参画入門（2単位）、社会参画実習（1単位）、人間力概論（2単位）、産学一致の勤め（2単位）、大分学・大分業（2単位）、英語1（2単位）、情報リテラシー1（2単位）及びデータサイエンス入門（1単位）とする。

- 3 専門教育科目における卒業要件は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 必修科目

以下に掲げる科目19単位を全て修得しなければならない。

解剖学（2単位）、生理学（2単位）、生化学（1単位）、病理学1（1単位）、医学概論（1単位）、薬理学（1単位）、公衆衛生学（1単位）、デジタル医療の基礎（1単位）、チーム医療概論（1単位）、医療安全論（1単位）、チーム協働と課題解決（1単位）、保健医療と経営（1単位）、保健医療と工学（1単位）及び卒業研究（4単位）

(2) コース必修科目

コース別に、以下に掲げる科目を全て修得しなければならない。

イ 診療放射線学コース（83単位）

医療統計学1（1単位）、臨床画像解剖学（2単位）、基礎医学大要（2単位）、放射線基礎科学（2単位）、放射線基礎工学（2単位）、医用工学（2単位）、放射線物理学（2単位）、放射化学（2単位）、放射線生物学・疫学（2単位）、放射線計測学（2単位）、理工学実験（2単位）、医療倫理学（1単位）、放射線撮影学1（2単位）、放射線撮影学2（2単位）、臨床画像学（2単位）、診療画像機器学1（2単位）、診療画像機器学2（2単位）、診療画像機器学実験（2単位）、診療画像検査学1（2単位）、診療画像検査学2（2単位）、診療画像技術学実習1（1単位）、診療画像技術学実習2（1単位）、放射線医薬品学（2単位）、核医学検査技術学1（2単位）、核医学検査技術学2（2単位）、放射線腫瘍学（1単位）、放射線治療技術学1（2単位）、放射線治療技術学2（2単位）、放射線治療機器学（2単位）、医療画像工学（2単位）、医療画像情報学1（2単位）、医療画像情報学2（2単位）、放射線関係法規（2単位）、放射線安全管理学（2単位）、医療安全管理学（1単位）、実践臨床画像論（2単位）、放射線医科学演習（1単位）、放射線治療技術演習（2単位）、核医学検査技術演習（2単位）及び臨床実習（診療参加型）（12単位）

ロ 臨床検査学コース（83単位）

病理学2（1単位）、微生物学（1単位）、分子生物学（1単位）、免疫学（1単位）、保健医療福祉論（1単位）、医療統計学1（1単位）、医療統計学2（1単位）、栄養学（1単位）、公衆衛生学演習（1単位）、関係法規（臨床検査）（1単位）、医療工学概論（2単位）、検査機器総論（1単位）、情報科学概論（1単位）、臨床病態学1（1単位）、臨床病態学2（2単位）、臨床検査医学（2単位）、臨床検査学演習（2単位）、血液検査学（2単位）、血液検査学実習（2単位）、病理組織検査学（2単位）、細胞診検査学（1単位）、病理組織細胞検査学実習（2単位）、一般検査学演習（2単位）、寄生虫検査学実習（1単位）、生体分析検査化学（1単位）、生体分析検査化学実習（2単位）、免疫検査学（1単位）、免疫検査学実習（2単位）、遺伝子・染色体検査学（1単位）、遺伝子・染色体検査学実習（1単位）、輸血・移植検査学（2単位）、輸血・移植検査学実習（2単位）、微生物検査学1（2単位）、微生物検査学2（2単位）、微生物検査学実習（2単位）、臨床生理検査学1（1単位）、臨床生理検査学2（1単位）、臨床生理検査学実習（2単位）、画像検査学（2単位）、画像検査学実習（2単位）、画像・AI解析検査学（2単位）、臨床検査総合演習（2単位）、検査総合管理学（2単位）、医療安全管理学実習（1単位）、臨床検査論1（2単位）、臨床検査論2（2単位）、臨床検査論3（1単位）、臨地実習前総合実習（1単位）及び臨地実習（11単位）

ハ 臨床医工学コース（83単位）

分子生物学（1単位）、免疫学（1単位）、保健医療福祉論（1単位）、基礎医学実習（1単位）、関係法規（医工学）（1単位）、応用数学（2単位）、医用電気工学総論（2単位）、医用電気工学各論（2単位）、医用電気工学実習（1単位）、医用電子工学総論（2単位）、医用電子工学各論（2単位）、医用電子工学実習（1単位）、医用機械工学（2単位）、医用計測工学（2単位）、医療情報処理工学（2単位）、医用システム工学（2単位）、システム・情報処理実習（1単位）、データサイエンス概論（2単位）、医用工学概論（1単位）、生体物性工学（2単位）、医用材料工学（2単位）、生体計測工学（2単位）、医用機器学概論（2単位）、医用機器学実習（1単位）、医用治療機器学（2単位）、生体計測装置学（2単位）、臨床支援技術学（2単位）、臨床支援技術学実習（1単位）、循環制御治療学（2単位）、人工呼吸療法学（2単位）、血液浄化療法学（2単位）、循環制御治療学実習（2単位）、人工呼

吸療法学実習（2単位）、血液浄化療法学実習（2単位）、医療機器安全管理学（2単位）、医用治療機器学実習（1単位）、生体計測装置学実習（1単位）、医療システムマネジメント論（2単位）、生命科学概論（1単位）、臨床医学英語（1単位）、救急・麻酔・集中治療医学（1単位）、臨床医学総論（内科系）（2単位）、臨床医学総論（外科系）（2単位）、人工臓器学（2単位）、医工学治療論（2単位）、レギュラトリーサイエンス論（2単位）及び臨床実習（7単位）

（進 級）

第3条 進級判定は、2年次及び3年次の学年末に行い、その判定基準は次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 各学年に配当された必修科目のうち、不合格科目（未履修科目を含む。）が2科目以内であること。ただし、各学年に配当されている実験・実習科目の単位は全て修得していること。
- (2) 3年次への進級は、前号の規定のほか、教養教育科

目の選択科目を8単位以上修得していること。

- (3) 4年次への進級は、第1号の規定のほか、基礎学力講座（国語及び数学）の「R」の認定を受けていること。
- 2 進級の決定は、教授会の議を経て、学長が決定する。
- 3 第1項の規定により進級できなかった者は、原学年に留年する。